

・ ・ ・ 新着図書 ・ ・ ・

テーマ⑤ 「子どもの学び」「教育評価」等一覧

書 名	著者・監修等	内 容
個別最適な学び の足場を組む	上智大学 教授 奈須 正裕	「みんな一緒、を手放す」 誰一人の育ちも取り残さない教育は、「同調圧力」が強い日本の学校で実現可能か？ 突如現れた（ように見える）「個別最適な学び」で、教室の景色はどう変わるのか？
個別最適な学び と協働的な学び	上智大学 教授 奈須 正裕	有能な学び手としての 子どもの姿から突き付けられたのは、 「教師は何のためにいるのか」 という問いでした。
「個別最適な学び」と 「協働的な学び」の 一体的な充実を 目指して	上智大学 教授 奈須 正裕 信州大学 教授 伏木 久始	理論的・実践的に知るべき最上の知見がここにある。 「今後の教育を構想する上での必要不可欠なマップであり、羅針盤となるだろう。」（白梅大学名誉教授 無藤 隆）「子どもの違った姿を見たいなら読んでほしい。」（「こたえのない学校」代表 藤原 さと）
主体的に学習に 取り組む態度 ～その育成と学習評価	北里大学准教授 田中 保樹 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 横浜市立菅田中学校 副校長 三藤 敏樹	「その評価、間違っています！」 ×評価は成績のためだけで、指導に生かしていない ×挙手の回数や積極的な発言など、形式的な態度を 評価している A と判断できる具体を示す…等々 主体的に学習に取り組む態度を育成するために、 二つの側面から評価する。それは…
学習評価	國學院大學 教授 田村 学	具体的な学習活動に応じた評価規準の設定方法を徹底解説！ 知識の構造化による豊かな見取りと質の高い授業の実現！
21 世紀型コンピテンシーの 次世代評価 ～教育評価・測定の革新に向けて	経済協力開発機構(OECD)編著 西村 美由起 訳	評価は、「測定が容易なもの」だけでなく「大切なこと」を測定すべきである。次世代評価は、真正の文脈において能力を示すことを可能にし、子どもが新しいことを学ぶ方法を評価すべきである。

「担任の先生や学習指導に関わる職員はもちろん、特にミドルリーダーや管理職の先生にもぜひ読んでいただきたい！」